



県民と議会を結ぶ



みんなの声を  
まっちょる犬

Vol.81

ほっと県議会かがわ  
平成31年4月25日発行

# とかがわ

## 県議会



### Let's make KAGAWA 2月定例県議会

#### 代表質問

《自民党県政会：大山議員、自民党議員会：石川議員、リベラル香川：竹本議員》

一般質問《5会派、12名の議員が登壇》

議員提出議案等《意見書3件を可決》

常任委員会だより・閉会中の委員会活動《12～2月中》

高校生フォトコンテスト議長賞作品

「僕らの地元」

撮影者：坂出商業高校

前田 奈緒さん

可決・同意  
された  
知事  
提出議案

#### 主な議案

○平成31年度一般会計当初予算

対前年度56億円余(1.2%)の増加、総額4,671億円余の当初予算

その他41議案

※可決・同意された主な議案は、14ページにも記載

うどん県 それだけじゃない  
香川県

# 2月定例会

2月18日から3月13日

# 代表質問

2月20日



大山 一郎 議員  
自民党県政会

**ゲーム依存症**  
問 全国に先駆けて人材育成等の対策に取り組むべきでは。

**答 浜田知事** スマートフォン等によるゲームやインターネットの過剰な利用により、若者が依存状態に陥りやすく、抜け出すことが困難となる。対策は急務であり、社会全体で対応していく必要がある。未然に防ぐための正しい知識の普及や啓発や相談支援に加え、依存症となった場合の進行予防、再発予防のための適切な医療を提供できる人材の育成が重要である。県民や医療、保健、福祉、教育等の関係者を対象とした研修会を今年度は既に2回開催しており、今後1回開催する予定である。来年度は、インターネット・ゲーム依存に伴うリスクを新聞等で広く県民に周知する。相談対応できる人材養成のため、県内医師等を対象に依存

症の専門家を招いた研修会を開催する。国立病院機構久里浜医療センター主催の研修会に医療従事者等を派遣したい。



青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム

平成28年度から久里浜医療センターが実施する依存の予防等の研修に教員等を派遣し、得た知見を相談や助言に活用している。来年度は、すべての公立小・中・高等学校に配置されているスクールカウンセラー等が利用実態を把握するとともに、依存症の基礎知識や有効な対応等についての研修会を行い、学校で相談に的確に応じることができるよう人材の養成を図る。

乳幼児期において母子一体感を損なわないという視点に十分留意しながら、子育てと仕事の両立を図るための取組みや、国の制度の活用について検討を進めるとともに、効果的な先進事例は、県内企業等に情報提供を行うなど、子どもや子育て家庭にやさしい環境の整備に積極的に取り組む。

**大規模災害に備えた防災・減災対策の強化**  
問 今後の取組みは。

**答 知事** 今年度から、働き方改革環境づくり助成事業を実施し、子どもの近くで仕事のできるテレワークの導入など、育児中の女性が働きやすい労働環境づくりを行う企業を支援している。他県では、母親が子どもを見守りながら勤務ができるよう子連れ出勤者専用の部屋として整備している企業や、長期の育児休業取得を制度化している企業がある。県内でも昨年12月にワーキングスペースと託児スペースを併設し、ガラス越しに子どもの様子を見られる事業所が開設されている。

の迅速化を図るための被災者支援機能などを取り入れる。家庭における家具類の転倒防止に対する支援を新たに行うとともに、学校と家庭が連携した防災教育の充実や各種の広報啓発活動の強化などに取り組みたい。

**新県立体育館の整備**  
問 対応できるイベントや機能性を重視した基本設計は。

**答 知事** バレーボールや卓球等の世界大会、ボクシングの世界戦、大相撲、アイスショーなどの利用も想定している。機能性に優れた競争力のある施設としたいと考えており、メインアリーナはトラック出入口を備えたコンクリート床とし、重量物の吊り下げや多様な会場レイアウトにも対応できる天井仕様とする。スムーズにイベントが開催できるよう、観客と主催者の動線分離や中継車等の駐車スペースの確保等も計画している。大規模イベント等が開催されている施設の整備内容を調査している。イベント主催者等からも意見を伺い、具体的な天井強度や高さ、動線、音響や照明などを検討し、必要な仕様を設計者に伝え、コンストラクション・

マネジメントの手法も取り入れながら、基本設計に反映させる。

**新県立体育館整備後の渋滞対策と公共交通機関の利便性向上**  
問 今後の取組みは。

**答 知事** サンプルポート高松の利便性を生かし、体育館の利用者にパークアンドライドも含めた公共交通機関の積極的な活用を促すほか、大規模イベント等の開催時には、電車、バスの増便や臨時シャトルバスの運行、警備員の配置による交通誘導等をイベント主催者に要請することも必要である。現在行っている新県立体育館の整備に伴うサンプルポート高松での交通アクセスの調査結果等を踏まえ、周辺道路の渋滞対策も含め、利便性向上について、大規模集客施設における公共交通機関の利用動向など先進事例を調査・研究し、関係市町や交通事業者等とも連携して検討を進める。琴電本町踏切は、東西交通のボトルネックの解消のため、高松市が交差点改良を進めており、早期の工事着手に向けて詳細設計を行っていると同っている。

**高松空港の機能強化**  
問 計器着陸装置のカテゴリⅢの整備は。

**答 知事** 視界不良による欠航等が航空便に対する信頼の低下や利用者数の減少をもたらすものと強く懸念される。計器着陸装置の高力カテゴリⅢにより、就航率を改善させる必要があるが、装置自体や飛行高度計測用反射板を設置するための用地造成が必要であるため、費用の縮減と便益を高める工夫が必要である。費用面では、国の滑走路端安全区域整備事業において滑走路東側で用地造成が予定されておられ、高力カテゴリⅢの用地造成費用を一定程度抑えられるのではないかと考えている。便益面では、大規模災害が発生した際に防災拠点として果たす役割や条件付き運航により失われる利益も考慮していた、だが必要がある。こうした工夫を行う等により、国が必要な投資として計器着陸装置を整備するよう、今後も粘り強く働きかける。

**道路ネットワークの整備**  
問 今後の取組みは。

**水産業の振興**  
問 ノリ養殖の食害対策等は。

**答 知事** 活力ある香川を創造していくためには、広域交通拠点や観光地等が広域的に結ばれ、目的地に分かりやすく、円滑に到達できるネットワークの形成が必要である。空港連絡道路の香南工区では、まずは空港までの分かりやすいルートを確認するため、約1kmのバイパス区間の測量、設計を進め、来年度から用地交渉等に着手する。県道高松坂出線の4車線化は、近く都市計画決定の告示を行う予定であり、来年度の事業化に向けて必要な予算確保を積極的に国に要望する。サンプルポート高松と高松西ICを結ぶ地域高規格道路は、防災・減災や渋滞の緩和等に有効な重要路線である。今後の整備方針の検討を進める。さぬき浜街道や県道高松長尾大内線などの幹線道路の整備も進めており、高松自動車道の4車線化による整備効果を生かして拠点性を確保する。

**医師確保対策**  
問 若手医師の育成と定着のための取組みは。

**答 知事** 今年度は、新たに全国の医学生や若手医師向けの専用情報サイトに本県のページを設け、研修病院の情報を発信するとともに、県外在住

の医学生が県内の研修病院を見学する際の旅費の一部を補助する制度を創設した。

来年度は、若手医師の県外流出を抑え、県内流入をより一層促進する観点から、臨床研修から専門医取得まで、本県の一貫したキャリア形成をイメージできる魅力づくりと情報発信の強化に取り組む。

具体的には、今年度から開始された新専門医制度において、本県を研修先として選択してもらえよう、医療機関に対して指導医の養成に要する経費を支援するとともに、専攻医に年額240万円の研修資金を貸与し、専門研修終了後、県内の医療機関で一定期間勤務すれば返還を免除する貸付制度を創設したい。

### 大規模小売店舗の立地規制

問 今後の取組みは。

答 知事床面積が1万㎡を超えるものは、市町や地域住民等との対話の推進や地域貢献活動を求め、地域づくりへの積極的な参画を促している。都市計画区域内では、大規模集客施設の立地を原則として広域拠点又は地域拠点内の商業地域、近隣商業地域等とするなどの判

断基準を定めている。用途地域の定めのない地域では、市町に「特定用途制限地域」の積極的な活用を助言している。

地元商業の振興は、魅力ある商店街づくりに取り組みむほか、個々の店には、制度融資による資金調達の円滑化や各種相談を行っている。

大規模な小売店舗の立地の抑制は、県内・県外事業者かに関わらず、大規模小売店舗立地法において需給調整的な運用は認められていないが、市町と連携し、持続的な発展が可能なまちづくりや商店街や個々の店の振興に取り組む。

### 交通死亡事故抑止対策

問 交通環境整備の取組みは。

答 河合警察本部長 一時停止の高輝度・カラー化は、県民の認知度や注意意識が高く、ゾーン30（※14ページ）は、一定の速度抑制効果が認められるとともに、歩行者等の安全確保に大きく寄与しており、引き続き、必要な整備を行う。道路幅員の狭い生活道路では、歩行者・車両の通行実態や交通事故の発生状況を勘案しつつ、住民等の意見を踏まえ、

ゾーン30を含めた速度規制や見直しを行っている。

本年2月から運用を開始した新たな速度違反取締装置は、高い速度抑制効果が期待され、県民から大きな反響を得ているため、追加整備に必要な予算を今定例会に提案した。

道路管理者と連携し、路側帯の拡幅やカラー化、道路に設けた盛り上がりにより車両の低速走行を促すランプの整備を進めるなど、総合的な速度抑制対策を図る。



石川 豊 議員  
自民党議員会

### 平成31年度当初予算案

問 将来の発展のため、どのような施策を推進するのか。

答 知事災害に強い香川づくりと人口減少問題克服 地域活力向上を目指す予算とした。「信頼・安心のかかわり」では、河川・海岸の地震・津波対策などを着実に進め、災害時の県民への情

報伝達体制の充実強化や各家庭における防災対策の促進など、ハード・ソフト両面での防災・減災対策を強力に推進する。児童虐待防止対策等の強化、全県をあげての交通死亡事故抑止対策などにも積極的に取り組む。

「成長するかがわ」では、AI等の先端技術を活用した産業振興や若者の県内定着の促進など、「笑顔で暮らせるかがわ」では、本県独自の英語教育の充実や瀬戸内国際芸術祭による地域活性化、犬猫の譲渡推進などに取り組む。

次世代への責任の視点を立ち、効果的・効率的な執行に努め、最大の効果を上げるべく、全力で取り組みたい。

### 一人ひとりの命を守る

問 防災・減災対策

問 今後の取組みは。

答 知事昨年の災害の教訓を踏まえ、災害対策本部のスムーズな設置のための本部要員の参集や本部事務局の初動対応など、各市町等と連携し、様々な場面を想定した、より実践的な訓練を充実させる。来年度は、大規模災害発生後各市町に直ちに連絡員を派遣でき

るよう、必要な資機材の整備や派遣職員の候補者リストの作成などを行い、各市町の被害状況や支援ニーズ等の情報を迅速かつ的確に集約するための体制整備を行う。

県民の生命、財産を守るため、災害対策本部の機能が的確に発揮できるよう、危機管理体制の一層の強化を図る。

ドクターヘリの導入は、救命率の向上や対応力の強化などの点で効果が期待されるが、経費負担や医師・看護師の確保などの課題もある。来年度、導入検討委員会を設置し、具体的に検討を進めたい。

### 交通死亡事故抑止対策

問 本県の特徴、特有の課題と高齢者を守る対策は。

答 警察本部長他県と比較した場合、壮年運転者が交通事故を起こすリスクが高いといった本県特有の課題に注目し、新たに「交通事故を起こさせないための運転者教育事業」の実施に必要な予算を今定例会に提案している。具体的には、壮年運転者を主な対象に、安全運転に関する技術と知識の向上を目的とした自動車教習所での実車講習

の受講料を助成することで講習の受講を促し、より一層の交通死亡事故の抑止を目指す。

答 知事昨年の全事故件数に占める高齢ドライバーの割合は24%で増加傾向にあるため、事故抑止効果が期待できる自動車を普及促進している。来年度、高齢者を対象に車の運転状況を自動的に記録する車載機器を活用して運転状況の診断を行い、結果をもとに安全運転講習会を開催するなど交通マナー向上を目指す。

### 高松自動車道の利便性向上

問 スマートインターチェンジ（※25ページ）の効果と展開は。

答 知事観音寺スマートインターチェンジ（仮称）は、昨年8月に国の準備段階調査に採択され、9月に設立された準備会で位置や構造等の概略検討が行われている。今後、この調査で検討された後、地区協議会の開催を経て新規事業化される見込みである。

坂出北ICは、本四高速がフルインターチェンジ化に向けて測量・設計を行っており、用地取得後、2024年度の事業完了を目指し工事に着手すると伺っている。

高速道路へのアクセスが強化され、物流機能の向上による地域産業基盤の強化や観光振興への貢献、救急搬送や災害時の迂回路としての活用が期待される。今後、アクセス道路や案内標識など必要なハード面を整備するとともに、新設を検討している市町への技術的な助言や国への働きかけに積極的に取り組む。

### 在宅医療の推進

問 今後の取組みは。

答 知事在宅医療と介護の連携を一層推進するため、香川県地域包括ケアシステム学会が本年1月に設立されるにあたり、支援を行うとともに、地域の実態に即した在宅医療のあり方を具体的に検討するため、各地域の在宅医療関係者による香川県在宅医療推進協議会を新たに設置し、2月より議論を開始した。来年度は、この協議会で各地域の課題抽出や対応策の検討を行うとともに、県医師会と連携して24時間対応の在宅医療を複数の医療機関が協力して行うなどの取組みをモデル事業として支援し、市町や関係団体に情報提供したい。

人生の最終段階における医

療やケアに関して、県民対象の公開講座や、医療・介護従事者対象の研修会を開催し、自らの望む医療やケアについて家族や医療ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組みの普及啓発に努めたい。

### 企業立地の支援

問 立地状況と取組みは。

答 知事平成28年度からの5年間の企業立地件数は、140件の目標に対し、本年1月末時点で108件と順調に立地が進んでいる。企業誘致助成制度では、近年、雇用の確保が困難な状況にあるため、今年度から、新規常用雇用者数に外国人技能実習生を算入できることとしたほか、工場等の設置にあわせて整備する福利厚生施設なども新たに助成対象とした。

工場等の新設や増設を行う中小企業の人材確保の経費の一部補助も今年度から実施している。地域未来投資促進法に基づき、先進的な事業に必要な土地や建物の取得に対し、不動産取得税の課税を免除するなど、県税の優遇措置を講じている。立地用地の造成における開

発許可など、土地利用に関する手続きについても、庁内連絡会議を活用して、迅速かつ円滑に進むよう努める。

### 水田農業の振興

問 今後の取組みは。

答 知事おいでまいの一層の高品質・安定生産とブランド力の強化を図るとともに、おいでまいを核とした売れる米づくりを推進する。裏作として重要な麦は、実需者から生産拡大の要望が高いため、作付拡大に必要な機械の導入支援やきめ細かな栽培技術指導による単収向上を図る。

二毛作により水田農業の収益性を高めるため、レタスやブロッコリーなどは、省力化や生産の安定化に向けた機械の導入を支援する。ロメインレタスや青ネギなど加工工業務用にも適した野菜は、販路拡大に向けた実需者とのマッチング活動を強化する。水田農業の生産コストの低減や効率的な生産体制を確立するため、認定農業者や集落営農組織などの経営体を確保・育成するとともに、農地中間管理事業を活用し、担い手への農地

の集積・集約化とは場整備などを一体的に推進する。

### 瀬戸内国際芸術祭2019

問 来場者の利便性向上や地域活力向上への取組みは。

答 知事来場前の対策として、初めて作品鑑賞パスポートの販売にオンライン決済を導入するとともに、開発中の公式アプリケーションに目的や日数に応じたお勧めのプランを掲載し、旅の計画をサポートできるように準備している。来場中の対策として、臨時航路の造成やフェリー3日間乗り放題乗船券の販売により、長期滞在者がゆったり巡ることができるようになっている。

新たな試みとして、各会場を効率よく巡り、より深く芸術祭の魅力や瀬戸内の食を楽しめる予約制のガイド付きツアーを毎日催行する。これまで以上に国籍や年齢、立場を越えた多くの方々



島民による地元食材の提供によるおもてなし

### 国際スポーツ競技大会を契機とした外国人観光客の誘客

問 今後の取組みは。

答 知事欧米のメディアから高い評価を受けている瀬戸内の島々を中心に、本県の魅力を伝えるPR動画を新たにインターネット上の動画投稿サイトで欧米豪に広告配信する。

ラグビーワールドカップでは、J.R西日本やJ.R九州のフリーパスと連動した誘客プログラムを実施するとともに、瀬戸内国際芸術祭を積極的にPRするなど、本県への広域周遊型観光の促進に努める。東京オリンピック・パラリンピックでは、首都圏からの誘客につなげるため、首都

圏空港からの旅行商品の造成を支援するなど、高松空港国内線への乗継ぎ利用による誘客促進に取り組む。

### 新しい時代における学校教育が目指す人材育成

問 今後の取組みは。

答 教育長グローバル人材の育成では、小・中学校の英語教育の円滑な接続を図るための指導体制を整える。来年度、小学校での英語学習環境を整備するため、モデル校での英会話ロボット等の教材・教具の導入を支援する。県立高校では、外国語指導助手や英語4技能試験を活用して生徒の英語力の向上に努めている。

IT人材の育成では、新学習指導要領において段階的にプログラミング教育、情報セキュリティ、情報デザイン、情報通信ネットワーク等について学習することになり、情報社会に主体的に参画するため

教員の指導力向上のため、県教育センターでICT機器を用いた授業を行うための指導方法等の研修を行うとともに、新たに県立の中学校・高校の普通教室にタブレット端末や電子黒板等を整備する。



竹本 敏信 議員  
リベラル香川

### 平成31年度当初予算案等

問 財政規律の確保は。

答 知事昨年11月に見直した財政運営指針で試算した今後5年間の収支見通しが、指針対策期間中と同様の歳入確保策や歳出抑制策を講じたとしても、なお28億円の財源不足が生じることが見込まれるため、これまで以上に財政規律の確保に意を用いた。増加が続く社会保障関係経費や公債費など後年度の財政負担の状況を十分見極めつつ、県民生活への影響等に留意しながら、事業のスクラップ・アンド・ビルドを一層徹底するなど、財源不足の

解消を図り、財政運営指針の対象期間内の臨時財政対策債を含む県債残高の減少を目指す。厳しい財政状況ではあるが、災害に強い香川づくりと人口減少問題の克服、地域活力の向上を推進しながら、次世代への責任の視点を立った、将来に過度の財政負担を残さない財政運営に努めたい。

### 統計調査における不適切な処理等

問 県民生活や行政運営への影響と本県の処理状況は。

答 知事本県の雇用保険の被保険者数は、昨年12月現在、約32万6千人であるが、毎月勤労統計の不適切な処理により、過少給付となっている本県の対象者数は厚生労働省において作業中で、県内での影響は把握できていない。行政運営では、国民経済計算の数値を一部利用している県民経済計算への影響や、県退職手当条例に基づき支給した失業者の退職手当の追加給付の可能性、各種刊行物等について、全国調査結果を記載している部分があるため、今後、国の対応を踏まえたうえ

で適切に対応していきたい。国から委託されている基幹統計は30統計であるが、事案発覚後、改めて法令等の定めに基づき、すべて適正に調査していることを確認している。

### 児童虐待対策

問 今後の対策強化は。

答 知事他の団体で発生した児童虐待死事件の情報は、児童相談所等の職員全員が共有し、日々の業務に生かしており、組織の対応力の向上につなげる。児童虐待防止条例は、親の懲戒権に関する民法改正の議論や児童虐待防止法の改正の動向等も見極め、条例制定の必要性や実効性について幅広く検討を進めたい。

答 教育長長期欠席の児童生徒の中には、教員の家庭訪問などに加え、福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを積極的に活用し、家庭環境への働きかけや関係機関との連携を進めている。国の要請を受け、児童虐待が疑われる事案に係る緊急点検を実施しており、本年2月1日以降、一度も登校していない児童生徒について面会できてな

い者には改めて安全確認を行うとともに、面会できなかつた児童生徒は、結果を児童相談所や警察に情報提供する。

### 障害者施策

問 障害者雇用と就労等は。

答 知事庁内業務の集約等による職務や体調に配慮した短時間勤務を設定し、募集案内には可能な限り具体的な業務内容や執務場所のバリアフリー設備を記載した。合格した希望者には、事前に職場見学等の機会を設ける。本庁の一部業務では、採用後、サポートする専属職員も配置する。

働く場開拓・就労定着推進事業では、新たなコーデイナーターを配置したい。来年度、障害者スポーツ体験会や県障害者芸術祭(仮称)を開催し、鉄道駅のバリアフリー化に取り組み2市町も支援する。

答 教育長学校図書館業務など様々な業務を用意し、適性に応じた働く場所を提供する。勤務場所や業務は、本人の希望や障害の状況等に十分配慮し、勤務条件も柔軟に対応する。事務局の全職員を対象に障害者雇用の研修を行い、

職場での障害者への配慮や支援について理解を深めた。

### ため池の防災対策

問 7月豪雨後の対策等は。

答 知事緊急点検を実施した8183か所のうち、19か所で応急措置が必要と判断された。5か所で復旧が完了し、10か所で早期復旧に取り組んでいる。残る4か所は市町の単独事業等に対応する。

老朽ため池の整備では、貯水量5万m<sup>3</sup>未満の中規模を重点的に整備することとし、老朽度が高く、早急に改修が必要な140か所を全面改修する。

耐震化整備では、これまでの大規模に加えて、防災上重要な中小規模を新たに対象とする。大規模では、今年度、6か所で耐震補強工事の早期完了に取り組み、3か所で完了する見込みである。中小規模では、今年度から耐震性点検調査を実施し、来年度は4か所で工事着手を予定している。ソフト対策では、来年度から、再選定する防災重点ため池の浸水想定区域図やハザードマップの作成を支援する。

### 大雨・台風時の河川氾濫・高潮への対策

問 今後の取組みは。

答 知事国が昨年12月にまとめた「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づき、河川改修を継続して推進し、堆積土砂等による氾濫の危険性を解消するため、樹木伐採や河道掘削を行う。

平成16年の大規模な高潮被害を受け、その対策を平成17年度から実施し、平成27年度からは、地震や津波による浸水にも対応した香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画に基づき、海岸堤防等の整備を推進している。

ソフト対策では、住民の迅速な避難につながる河川情報の提供を行うため、水位計や河川監視カメラの整備に引き続き取り組む。来年度、ダムでの防災操作による下流河川の水位上昇高のシミュレーションや最大クラスの高潮を想定した浸水想定区域図の作成に取り組む。

### 盆栽産地の活性化

問 今後の取組みは。

答 知事高松市では、「高松盆

裁の郷」基本構想を策定したところであり、県・市の役割分担のもと、産地の活性化に向け、取り組んでいる。

県では、盆栽の輸出を促進するため、EUや北米の植物検疫上の障壁である黒松の病害虫対策について国と連携して調査・研究を実施し、輸出用盆栽の生産に必要な施設機械の整備も支援している。

海外バイヤーの招へいやホームページの多言語化により、本県の盆栽や産地の魅力を海外にPRするとともに、外国人向けの栽培マニュアル作成や産地へのツアー招致などの情報発信も引き続き支援する。本県の盆栽文化の紹介や販売なども行われ、国内外の観光客や盆栽愛好家が気軽に



海外でも高く評価される盆栽

答 教育長来年度は、自動車運転免許が取得可能な年代となる県内すべての高校生を対象として、交通事故の悲惨さをD.V.Dの映像で具体的に認識させるなど、交通安全意識の醸成に重点的に取り組む。

に立ち寄ることができるよう交流拠点施設の整備も支援し、産地の活性化を図る。

### 交通死亡事故抑止対策

問 重点的な取組みは。

答 知事来年度は、ソフト面の対策として、今年度実施したAIによる交通事故分析の結果を踏まえた交通事故危険度予測マップの作成や、他県よりも多い漫然運転や脇見運転などの「発見遅れ」による事故の防止に重点を置いた啓発を行う。スマートフォンアプリ等を活用して車の運転状況を診断し、安全運転を競うコンテスト等も実施する。

答 警察本部長新たな速度違反取締装置は、2月1日から県警ホームページで公表している生活道路や交通事故が多発している路線で運用を開始しており、配備や取締場所等の見直しを継続的に行っていく。

丸亀市



米田 晴彦 (60歳)  
丸亀市中府町五丁目5番1号



香川 芳文 (69歳)  
丸亀市飯山町上法軍寺395番地

# 新たな議会がスタートします

※新議員の任期は平成31年4月30日から4年間です。掲載順は選挙区ごとに右上から50音順で、年齢は4月30日現在です。

4月7日に香川県議会議員選挙が行われ、41名の新議員が選出されました。

真に豊かさを実感できる県民生活の実現に向けて、皆さんの声を受けとめ議会活動を行ってまいります。

小豆郡



谷久 浩一 (51歳)  
小豆郡土庄町上庄1367番地1



黒島 啓 (77歳)  
小豆郡小豆島町苗羽甲1440番地1

三豊市



白川 和幸 (51歳)  
三豊市高瀬町下勝間1574番地1



斉藤 勝範 (62歳)  
三豊市三野町大見甲6636番地2



山本 直樹 (71歳)  
丸亀市新浜町二丁目13番16号



山田 正芳 (55歳)  
丸亀市土器町東五丁目378番地



尾崎 道廣 (73歳)  
坂出市富士見町一丁目6番27号



有福 哲二 (52歳)  
坂出市林田町3534番地8



森 裕行 (62歳)  
三豊市豊中町比地大2848番地1



辻村 修 (57歳)  
善通寺市上吉田町511番地



高田 良徳 (59歳)  
善通寺市木徳町854番地2

坂出市



西川 昭吾 (60歳)  
坂出市川津町2360番地24

善通寺市

観音寺市



石川 豊 (77歳)  
観音寺市吉岡町146番地



高城 宗幸 (67歳)  
観音寺市坂本町五丁目19番5号



佐伯 明浩 (58歳)  
観音寺市大野原町井関389番地



新田 耕造 (69歳)  
仲多度郡多度津町北鴨一丁目10番4-1号



五所野尾 恭一 (73歳)  
仲多度郡まんのう町四條456番地3



氏家 孝志 (54歳)  
仲多度郡琴平町下櫛梨1237番地1

仲多度郡第二



松岡 里佳 (38歳)  
綾歌郡綾川町陶5999番地

綾歌郡

高松市



岡野朱里子 (45歳)  
高松市花ノ宮町三丁目4番28号



大山 一郎 (59歳)  
高松市香西本町152番地6



綾田 福雄 (72歳)  
高松市香南町岡370番地5



秋山 時貞 (32歳)  
高松市室新町1054番地5



都築 信行 (53歳)  
高松市太田下町1667番地4



竹本 敏信 (71歳)  
高松市国分寺町新名822番地



高木 英一 (69歳)  
高松市牟礼町原1998番地1



鎌田 守恭 (70歳)  
高松市紙町38番地9



檜 昭二 (69歳)  
高松市木太町1056番地



宮本 欣貞 (64歳)  
高松市西植田町2961番地1



三野 康祐 (62歳)  
高松市中野町34番6号



松本 公継 (45歳)  
高松市一宮町438番地3



広瀬 良隆 (65歳)  
高松市高松町41番地4



平木 享 (71歳)  
高松市仏生山町甲433番地3



山本 悟史 (50歳)  
高松市木太町2735番地3



松原 哲也 (41歳)  
木田郡三木町井上2132番地1

木田郡



木村 篤史 (46歳)  
さぬき市長尾名342番地3



十河 直 (77歳)  
さぬき市造田野間田647番地1



鏡原慎一郎 (33歳)  
東かがわ市引田357番地18



花崎 光弘 (64歳)  
東かがわ市漆1237番地

東かがわ市



白川 和幸 議員  
自民党県政会

**問 県産野菜の戦略的な販売促進は。**  
**答** 市場駐在員活動で得たニーズに対応し、さぬきのめざめのセミロングでの販売などの商品づくりを支援してきた。夏場の青ネギの流通段階における鮮度保持を図るため、出荷前の予冷処理の効果を検証した。来年度は、リーフレットを作成し、生産者に情報提供するなど鮮度の高い流通体制づくりを支援する。収穫時期や収量などを予測するシステムについて秋冬ブロックリーにも取り組む。

**問 中小企業振興の取組みは。**  
**答** 経営安定化に向け、資金調達の円滑化を図り、事業継承計画策定や労働環境整備等経費を助成するほか、よろず支援拠点や商工会・商工会議所等で経営相談や情報提供等の支援を行っている。販路開拓支援は、近畿圏や四国内の産業支援機関と連携した広域商談会の開催や見本市出展への支援や、県内企業が求める取引先企業とのマッチング等を行っている。

**問 プログラミング教育の人材育成は。**  
**答** 情報通信交流館では、子どもの発達段階に応じた様々なプログラミング講座の実施や小学校の校外学習の受入れを行った。今後とも、より多くの子どもたちがプログラミングに興味を持ち、慣れ親しんでもらえるよう、講座の充実に努め、将来のICT人材の育成につなげたい。

**問 インターネット利用に伴う青少年の被害防止対策は。**  
**答** 青少年保護育成条例について、東京都や兵庫県など10都府県が青少年に自撮りを要求する行為を規制するための改正を行っている。今後もインターネットの危険性等の周知啓発に努めるとともに、他県の条例改正の内容や効果等の情報収集を行い、有識者等の御意見を伺いながら検討したい。



広瀬 良隆 議員  
公明党議員会

**問 循環器病対策基本法を踏まえた取組みは。**  
**答** 市町による小児生活習慣病予防健診への助成、望ましい食習慣・運動習慣の普及促進、特定健診の受診率向上などに取り組んできた。法律を踏まえた対策等を着実に実施することで、循環器病の予防推進や、医療の迅速な提供、研究の促進等が加速される。国において策定予定の循環器病対策推進基本計画の内容も踏まえ、本県の推進計画を検討するなど、循環器病対策を総合的かつ計画的に推進する。

**問 発達障害に対する取組みは。**  
**答** 大人の発達障害の相談件数は、昨年度、延べ705件に増加していることから、就労支援や企業への講師派遣等の対応を行っている。これらの取組みを一層進めることで企業の労務管理者等の発達障害への理解や対応を促進する。早期発見のため、県で乳幼児健康診査の手引きを作成し、各市町の健診や相談の質の向上を図り、専門研修を実施している。早期対応を図るため、障害児等療育支援事業を県内8施設に委託して相談支援を行った。

**問 夜間中学設置の必要性の検討は。**  
**答** 県内全市町で、夜間中学等の設置に向けた具体的な動きまでには至っていない。必要性の検討には、外国人など潜在的入学希望者がどの程度存在するのか、その把握手法等、法律に基づく協議会設置も含め、研究・検討する必要がある。そのニーズ調査は、市町教育委員会の意向も十分踏まえながら検討を進めたい。他県の取組みを注視しつつ、各市町と連携を図り、義務教育を十分に受けていない方への教育の機会の確保や支援に努める。



高木 英一 議員  
自民党議員会

**問 文化芸術力を生かした地域活性化は。**  
**答** 美術館や地元市町等とも連携を図り、芸術作品を地域に生かしていく取組みを進める。県内の文化資源の磨き上げを図り、魅力ある文化資源のブランド力を高めるため、県内外への発信強化に取り組む。メディアやSNSなど様々な情報ツールを活用し、イベント情報だけでなく、文化芸術の魅力を多角的に発信し、県民の意識向上に取り組む。

**問 技術・技能を持つ若者の人材育成は。**  
**答** 知事高松を含む東讃地域では、高等技術学校高松校で、技術専門コースを電気、自動車、建築、機械の4学科で実施している。技能検定を受検する若者への手数料の一部減免措置など、技能尊重気運の醸成に努めている。産業技術センターでは、造船や建設機械など、本県の重要な基盤技術である溶接や機械加工の技術力向上を図っている。

**問 災害時の乳幼児や妊産婦への対応は。**  
**答** 乳幼児に必要な粉ミルク、お粥、ほ乳瓶、おむつなどを備蓄している。避難所等で乳幼児や妊産婦などの要配慮者に保健指導等を行う際の指針となる香川県災害時保健活動マニュアルを策定する。大学等の関係機関、団体等との協力や県民への意識啓発を行うなど、乳幼児や妊産婦を災害から守る社会づくりに積極的に取り組む。

**問 読書時間確保の取組みは。**  
**答** 小中公立高校は、朝の読書を含めた読書習慣の確立と読書時間の確保に一層努める。読書時間の減少には、小・中学生を対象とした「香川の子どもたちに読んでほしい100冊」の本の紹介や、「23が60読書レビュー」の募集や高校生による「ビブリオバトル」を実施している。学校司書配置促進事業により、県内全市町で学校図書館を活用できる環境づくりが整ってきた。



松原 哲也 議員  
自民党県政会

**問 自主防災活動の促進は。**  
**答** 地域防災力重点分野支援事業により、各市町が行う機能強化の取組みを支援するとともに、豊富な知識と経験を有するアドバイザーの派遣や組織の広域化に向けた取組みの支援などにより、結成促進や機能強化を図ってきた。来年度、自主防災組織が行う地区防災計画や避難所運営マニュアルの策定などの先進的な取組みを支援する。

**問 「イクケン香川」の取組みは。**  
**答** 来年度は、「イクケン香川たまご育て事業」として、高校生を対象に、妊娠・出産などに関する正しい知識を学ぶとともに、ライフプランニングシートの作成を通じ、人生設計を具体的に考えるきっかけとなる講座を開催する。活力と意欲のあるシニア層に、自身の孫だけでなく他人の孫への子育て支援である「他孫育て」への参画を促したい。

**問 中山間地域の農業の活性化は。**  
**答** 収益性の高い作物である薬用作物や特産品の原料となるクリなどの果樹の栽培を支援し、地域の特性を生かした品目の導入を進める。中山間地域等直接支払制度を活用し、持続的な農業生産活動を通じて耕作放棄地の発生防止や多面的機能の維持を図り、豊かな自然環境、魅力的な地域資源を活用した都市と農村の交流を促進する。

**問 交通死亡事故抑止対策は。**  
**答** 2月から運用開始した速度違反取締装置は、取締りの看板等を事前に設置するなど、ドライバーに注意喚起を促している。交通事故分析に基づいた交通事故抑止に資する取締りを強化し、年齢層に応じた交通安全教育や交通事故の起きにくい交通環境の整備など、本県の交通死亡事故の特徴や課題を踏まえた取組みを推進していく。



高田 良徳 議員  
リベラル香川

**問 高校生の運転免許取得「原則禁止」の見直しは。**  
**答** いわゆる「三不運動」は、原則的な考え方として県内で定着している。高校生への運転者教育として、来年度から、DVDを活用し、将来の自動車等の運転を念頭に置いた交通安全意識の醸成に取り組む。県立高校生の運転免許取得のルール変更は、学校、生徒、保護者が十分協議していく必要がある。

**問 高校生の政治参加への対応は。**  
**答** 県立高校では、学習用教材を新入生全員に配布するなど主権者教育に取り組んでおり、特徴的な取組みを行う学校では、前向きな意見が多く、一定の効果が見られる。校則は、選挙権年齢の満18歳以上への引下げに伴い、各学校で見直した。必ずしも政治的活動等は網羅していないが、記載内容が分かりにくいもの等もあり、改善を図るよう指導する。

**問 高校の部活動による時間外勤務は。**  
**答** 部活動の休養日と活動時間の基準は、日本体育協会の研究も参考にスポーツクターの意見等も踏まえて設定した。試験期間中やオフシーズンに休養期間を設けるなどの工夫により、部活動による時間外勤務を月平均で45時間以内にはできるのではないかと考えている。3月末までに県部活動ガイドラインを策定し、学校に働きかけたい。

**問 特別支援教育の取組みは。**  
**答** 特別支援学校の教員免許保有率は、認定講習の開催等により、今年度は約78%と全国平均並みとなった。小中学校の特別支援学級の担任の保有率も全国平均並みである。小中学校の教員の特別支援学校への人事交流は、本人の希望等も考慮しながら行ってきた。今後も、特別支援教育に関する理解の促進と専門性の向上の観点から進めたい。



佐伯 明浩 議員  
自民党県政会

**問 高松空港の就航率向上の取組みは。**  
**答** 高松空港の計器着陸装置の高カテゴリー化は、国からは、費用便益比が1を下回っていることが課題であると伺っている。費用の縮減や、得られる便益を高めるための工夫を行うことなどにより、国において必要な投資として、カテゴリーⅢの計器着陸装置の整備が図られるよう、今後とも、粘り強く働きかける。

**問 四国の新幹線整備の取組みは。**  
**答** 「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」において、新幹線の導入が持続可能な公共交通ネットワーク構築に不可欠であることを強く訴える。来年度の早い時期に四国新幹線整備促進期成会において、新幹線整備に伴う岡山県への波及効果に係る調査結果を公表するとともに、夏頃には東京大会を開催し、その後、国等に要望活動等を行う。

**問 外国人労働者の受入れの対応は。**  
**答** 4月1日に県内事業所や外国人労働者からの相談に対応する外国人労働人材関係相談窓口を県独自で設置するとともに、在留手続、雇用、医療・福祉、出産・子育て、教育など外国人の生活全般の一元的な相談窓口を整備する。高松入国管理局や香川労働局、各市町など関係機関との連携会議を設置し、本県独自の総合的な支援体制を構築する。

**問 AI等先端技術の利活用は。**  
**答** 企業の技術者等がAIの実践的な技術を学べる講座を三豊市と連携して新たに開催するほか、県内企業が産業技術総合研究所と連携して実施する先進的な研究開発等の支援や、RPA(※3 右欄参照)、IoT、ロボット技術等の導入支援に取り組む。農業者に対しては、先端技術を活用した生産性の高い農業の導入を目指した研究開発や現地実証の加速化を図る。

※議員の会派名は質問時点のもの

2月 定例会

## 一般質問 (要旨)



3月11日

氏家 孝志  
議員

自民党県政会

**問 滞在型観光の推進の取組みは。**

**答** 県が実施する夜のイベントの効果的な広報手段や内容の充実努めるとともに、新たに、民間事業者や市町等が実施する夜のイベントへの支援を行うほか、県公式観光サイトで、県内の様々な体験メニューを、よりわかりやすくなるよう体系的な整理や一元的に情報発信するほか、SNS等も活用して動画でアップするなど、効果的な情報発信に努める。

**問 ことでのん高速化とJR四国のICカード導入エリア拡大の取組みは。**

**答** 準急列車の運行による高速化は、ことでのんにおいて利用者ニーズ等の観点も含めて判断されるが、県としても沿線市町等の意見を伺い、研究する。JR四国内のICカード導入エリアの拡大は、費用対効果等から実現していないと伺っており、引き続き、事業者に対し、検討するよう働きかける。

**問 ヒマワリや地域特産品の生産振興は。**

**答** ヒマワリは、栽培技術の確立・普及のため、農業改良普及センターで栽培マニュアルの作成・指導を行っている。来年度は、鳥獣被害対応の技術実証ほを設置するなど、安定生産に取り組む。地域特産品の商品開発推進には、専門家による指導、商工業者など他産業とのマッチング活動や機械・施設の導入支援など、進展段階に応じた6次産業化の支援を行う。

**問 近年の豪雨等で被災した金倉川と土器川の防災・減災対策は。**

**答** 金倉川では、局部的な改修工事や樹木伐採・河道掘削等を行うとともに、危機管理型水位計(※4.13ページ参照)を新たに2基設置し、避難情報の発令を支援する。土器川では、国において河川改修等を継続するほか、県管理区間においても、樹木伐採や河道掘削を行うとともに、危機管理型水位計を1基設置する。

松村 秀樹  
議員

恵風

**問 戦略的な農業振興は。**

**答** 加工・業務用野菜の生産は、実需者との直接契約栽培により、流通コストの削減が図れる。適した品種の検討や専用の収穫機の導入支援、加工業者やパイヤーの産地招へいによるビジネスマッチングの機会を創出し、販路拡大に努める。卸売市場等と連携した旬の野菜や果物の試食宣伝や、SNSなどを活用した情報発信で消費拡大やブランド化を促進する。

**問 幼児教育の無償化の影響などは。**

**答** 4月時点の認可保育施設への入所申込児童数は、昨年よりも増加が見込まれ、幼児教育無償化の影響も考えられる。保育士の処遇改善では、人事院の勧告に準じて0.8%の上乗せが行われ、来年度はさらに1%の処遇改善が行われる予定であるが、引き続き、国に財源確保等を要望する。公立保育所の臨時保育士の賃金は、各市町で判断されるものと考えている。

**問 外国人の労働環境改善と共生に関する啓発の取組みは。**

**答** 外国人技能実習の監理団体には、実習生の入国後講習等が適切であるか、受入企業には、賃金を含む労働関係法令違反の有無等を指導している。新たな在留資格の創設に伴い、現地指導の対象事業所数を増やすほか、生活相談窓口が必要なマナー等を情報提供するなど、外国人との共生に向けた取組みを進める。

**問 暴走族等による騒音対策は。**

**答** 消音器不備と整備不良等による現場での検挙活動、ビデオ撮影などにより行為者を特定し、後日、共同危険行為等の禁止違反として立件する。暴走行為等の通報があった場合、パトカー等を急行させ、週末等には重点的な取締りを行っている。香川県暴走族等の追放に関する条例に基づき、暴走族追放運動の促進や加入阻止等の暴走族対策を推進する。

松本 公継  
議員

自民党議員会

**問 地域公共交通の利便性向上は。**

**答** 市町や交通事業者等で構成する地域公共交通会議に県も参画し、鉄道と路線バス、フェリー等の公共交通機関相互の乗り継ぎ機能を高めるなど、地域の実情に即した輸送サービスの実現に取り組んでいる。ことでのん太田・仏生山駅の新駅は、高松空港や県東部との広域交通結節点としての役割を担うことが期待される。高松市とともに支援したい。

**問 栗林公園のさらなる魅力向上は。**

**答** 県公式観光サイトやSNSによるPR、周辺宿泊施設での案内の協力依頼など、外国人観光客を意識した情報発信の強化にも努める。コイの復元は、多くの皆様から支援いただいた1千万円を超える寄付金を活用し、多数の観光客の来県が期待される瀬戸内国際芸術祭開幕前の4月20日に、コイの放流を行う方向で準備を進めたい。

**問 待機児童対策と保育の充実は。**

**答** 4月時点の認可保育施設への入所申込児童数は、昨年よりも増加が見込まれ、幼児教育無償化の影響も考えられる。4月には認可保育施設が7施設開所し、企業主導型の保育施設も9か所開所する予定である。来年度は、民間保育所や認定こども園で、保育士の育児休業取得や外部研修参加等により、代替が必要な場合に民間派遣会社を活用した支援を行う。

**問 家庭教育支援への取組みは。**

**答** 子どものゲーム・インターネット等の利用に対し、約6割の保護者に不安や悩みがあり、4歳児でも5割を超えていることがわかった。保護者同士の学習会にさぬき子安全安心ネットワーク指導員を派遣し、望ましい関わり方を考える機会を提供している。来年度、幼児の保護者向けの啓発冊子を作成し、3・4歳児の保護者に配布する。学習会でも活用する。

谷久 浩一  
議員

自民党議員会

**問 中小企業のBCP策定の促進は。**

**答** 製造業で策定が十分に進んでいないことを踏まえ、専門家の指導等により、製造業のBCP策定や見直し経費の補助制度を創設するほか、県内中小企業設備投資資金利子補給補助事業で2年目以降の補助金交付申請時にBCP策定を要件とするとともに、優良取組認定事業所は、補助上限額を現行の100万円から200万円に引き上げるよう運用を見直す。

**問 県産オリーブ関連商品の認証制度は。**

**答** かがわ県産品振興機構と連携して、県内事業者による県産オリーブを使った商品の認証制度を全国で初めて創設したい。ブランドイメージの向上が期待できる関連商品を対象に認証を受けた商品は認証マークを表示できる。認証マークのデザインは公募し、6月までに決定する。7月から申請を受け付け、審査会による審査を経て、秋頃に認証したい。

**問 農泊の推進は。**

**答** 本県の魅力あるブランド農産物などの地域資源を発掘するなど、多様なコンテンツの充実・強化を図っている。今後、コンテンツを紹介するパンフレットの多言語化による情報発信にも取り組む。農家民泊の開業に興味のある方を対象に開業支援セミナーや先進地視察を行っている。今後も開業手続き相談のワンストップ化など支援の強化を図る。

**問 小豆島中央高校の魅力向上は。**

**答** 来年度、オリーブ等の地元産業や観光資源等を素材に、地域課題を発見し、解決に取り組む探究的な学びを通じて地域の新たな魅力を考える事業を実施する。地域と生徒をつなぐコーディネーターを置くなど、自治体や企業との連携を一層強化し、生徒の地域への興味・関心を深める。県外生徒の受け入れは、他県の成功事例と合わせて検討を進めたい。

山本 悟史  
議員

リベラル香川

**問 骨髄移植の推進は。**

**答** 今年度から、ドナー等への市町の助成額に対する補助制度を創設するとともに、ドナー休暇制度を設けている事業所を県ホームページで紹介するなど、企業の自主的な取組みを促進している。骨髄移植への理解を深めてもらうため、今年度初めて、骨髄を移植した著名な俳優による講演会を高松で開催するなど、若年層への啓発にも努めている。

**問 「しっぽの森」と動物愛護施策は。**

**答** 発信力のある方への名誉センター長のお願いは他県の状況等も伺いながら研究したい。動物取扱業者には、不適切な管理情報等が保健所に寄せられた場合にも立入検査を行い、管理状況を確認している。今後は強化月間を設け、集中的に行いたい。より適切な譲渡が行われるよう、譲渡ボランティアの登録要件の見直しを検討している。

**問 うどん県プロモーションへの取組みは。**

**答** 民間のPR会社への委託により、本県のアートや食など世界に誇る地域資源がメディアに取り上げられることで、メディアによる発信とウェブサイトによる発信の相乗効果を高め、パブリシティ効果の得られる戦略的な情報発信を行う。うどん県PR団に任命されたヤドンは、イベントの実施など本県をPRする動画やノベルティに活用する。

**問 統一地方選挙の投票率の向上は。**

**答** 若年層が興味を持つような選挙啓発動画を作製して情報発信を行い、駅や大型ショッピングモールなどで選挙啓発イベントを実施し、直接投票を働きかける。関係機関と連携し、期日前投票や郵便等による不在者投票などの制度の周知を図り、効果的な選挙啓発の取組みをより一層積極的に実施し、有権者全体の投票率向上につなげたい。

寺嶋 昌夫  
議員

自民党県政会

**問 瀬戸内国際芸術祭の地域連携等は。**

**答** 会期中に開催される文化芸術イベントや地域の伝統行事、祭りなど90件を選定した。今後、ウェブサイトやパンフレットなどでPRを行う。県産品を抽選でプレゼントするピンゴラリーも企画している。他の国際芸術祭等との相互PR、本四高速が実施する瀬戸内の美術館を巡るスタンプラリーと連携した賞の創設などを予定している。

**問 連携・協力協定を活用した文化芸術の振興は。**

**答** 東京藝術大学と昨年12月に連携・協力協定を締結した。美術学部の学生らが県内で滞在制作した作品による展覧会を予定しており、瀬戸内国際芸術祭にも公式作品として参加する。音楽学部との連携は、「かがわ音楽アカデミー」の部門数の拡大やレッスン内容の充実について調整を行っている。

**問 県内大学と連携した若者の県内定着促進は。**

**答** 大学等による出前講座や体験授業、講演会の開催等、魅力ある大学づくりに向けた取組みに支援している。大学コンソーシアム香川では、合同進学説明会の実施やオープンキャンパスのポスター・チラシの作成・配布などの情報発信に取り組んできた。来年度はキャンパスガイドの作成を支援する。

**問 ワークサポートかがわの取組みは。**

**答** 県内企業の人材確保支援により、平成29年の開設から2月までに4,607件の就職相談を受け、216人が県内企業に就職した。県外の学生が県内でインターシップ等に参加するときの交通費助成制度を実施し、県内企業を知り、理解を深める機会の創出に取り組んでいる。来年度は、県内企業の魅力や情報を発信する新たな広報冊子を作成し、配布する。

※議員の会派名は質問時点のもの

# 平成31年度 一般会計当初予算案を可決

2月定例会県議会は2月18日に招集され、3月13日までの24日間にわたり開かれまして。  
開会后、平成31年度一般会計当初予算案や各種条例案など33議案が提出されました。

平成31年度の予算編成について、知事からは、「無駄を省き、施策の選択と集中を徹底する中で財源を確保し、直面する喫緊の課題である防災・減災対策、人口減少・活力向上対策には前年度を上回る予算を確保するなど将来の発展に資する施策に重点的に取り組む」との説明がありました。

続いて、国の第2次補正予算の追加配分等を踏まえた平成30年度一般会計補正予算案を先に審議することを決め、当日可決しました。  
3月6日には、事業執行等に伴う平成30年度一般会計補正予算案など

の7議案が追加上程されました。  
最終日には、人事案件2議案が追加上程された後、各常任委員会の審査の結果、知事提出40議案すべてが原案通り可決・同意されました。  
その後、議員から提出された意見書案3件を可決し、今定例会に付議されたすべての案件の審議を終了しました。

## 議会各会派(平成31年3月22日)

- ◆自由民主党香川県政会 …… 19人
- ◆香川県議会自由民主党議員会 …… 10人
- ◆リベラル香川 …… 7人
- ◆香川県議会公明党議員会 …… 2人
- ◆日本共産党香川県議会議員団 …… 1人
- ◆恵風 …… 1人
- ◆無所属 …… 1人

## 可決された主な知事提出議案

**平成30年度香川県一般会計補正予算**  
(2月18日提出分) 国の補正予算への対応等に伴う総額46億円の増額補正。  
(3月6日提出分) 事業執行等に伴う総額130億円の減額補正。

### 香川県医学生修学資金貸付条例の一部を改正する条例

県内における新たな専門医制度に対応した医師の確保を図るため、将来、県内の指定専門医療機関において業務に従事しようとする専攻医に対し、専門医研修資金を貸し付けるもの。

**香川県使用料、手数料条例の一部を改正する条例**  
県民負担の適正化・公平化を図るため、当該収入を充てて執行する事務に要する経費や他県における同種又は類似の料金との均衡を保つ観点から、現行の使用料及び手数料の見直しを行い改正するもの。

### 県の債権に係る延滞金の徴収等に関する条例等の一部を改正する条例

一般金融市場における金利の水準を勘案し、県の債権に係る延滞金の利率を引き下げ、民法における法定利率に関する規定が改正されたこと等を踏まえ、関係条例について所要の改正を行うもの。

**香川県立学校職員及び香川県市町立学校県費負担教職員定数条例の一部を改正する条例**  
小学校の児童数や中学校及び高等学校の生徒数の変化等を踏まえ、県立学校職員及び市町立学校県費負担教職員の定数を改めるもの。

- ◆**総務委員会** (2月4日、審査)
  - 地域の情報化について
  - 地方税及び税外未収金の徴収体制について
  - 地域における犯罪抑止力の強化について
- ◆**環境建設委員会** (1月31日、審査)
  - 野生鳥獣対策の推進と希少野生生物の保護について
  - 河川砂防・下水道行政について
- ◆**文教厚生委員会** (1月30日、審査)
  - 障害福祉について
  - 地域の特色を生かした小中学校教育の推進について
- ◆**経済委員会** (1月29日、審査)
  - 企業立地の促進及び企業立地による地域活性化について
  - 地域資源(交通インフラ等)を活用した観光誘致等の取り組みについて
  - 農畜水産物のブランド化の推進について
- ◆**総合防災対策特別委員会** (2月1日、審査)
  - 地域防災体制の充実・強化について
  - 地震津波対策とため池の防災対策について
- ◆**地方創生特別委員会** (12月18日、現地視察)
  - 日美(株)JA香川県高松市西部鬼無支店(神高松寿園(高松市))
  - 地方創生交付金を活用した地域活性化について
  - 地場産業の振興について
- ◆**少子化対策特別委員会** (12月20日、現地視察)
  - 認定こども園高松東幼稚園(高松市)、社会福祉法人津田福祉会(さぬき市、大内こども園(東かがわ市))
  - 1月23日、審査
  - 少子化対策の推進について
- ◆**交流促進特別委員会** (12月21日、現地視察)
  - 観音寺市民会館(観音寺市)、J.R予讃線財田川橋りよ(二豊市、灸まん美術館(善通寺市))
  - 1月22日、審査
  - 本県における鉄道ネットワークの確保・維持について
  - 「断トコ」の文化芸術を活かした地域活性化について
- ◆**県立体育館整備等に関する特別委員会** (2月7日、審査)
  - 管理運営方法の調査について

## 議員提出議案

- 意見書**
  - ①観光施策を推進するための地方財政の充実を求める意見書案(可決)
  - ②韓国政府の言動に対し、毅然とした外交姿勢で臨むことを求める意見書案(可決)
  - ③医師確保対策の充実・強化を求める意見書案(可決)
- ◆**請願・陳情**
  - 採択 1件
  - 不採択 3件
- ◆**審査件数** 6件
- ◆**任命同意の人事案件** 2件
  - 香川県議会議員の政務活動費の領収書等の議会ホームページでの公開等について
  - 厳しい財政の下、政務活動費の使途適正化に向けて監査委員の「要望」を早急に実現することを求めることについて
- ◆**香川県収入委員会委員**
  - 委員 藤本 智子(同意)
  - 予備委員 瀧本 関雄(同意)



## 常任委員会だより

### 総務委員会

#### 外国人住民への支援

**問 今後の取組みは。**  
**答** 来年度、国際化推進会議を設置して市町等との連携体制を強化し、市町の取り組みを支援したい。外国人住民向けに生活ガイドブックのウェブ版を作成し、スマートフォンでも活用できるようにするほか、防災対策として防災訓練や通訳ボランティアへの研修、災害時の外国人支援の拠点となる多言語支援センターの開設訓練



外国人住民を対象とした防災訓練の様子

等を行いたい。多文化共生フォーラムの開催の際に生の声を拾い上げ、外国人住民が抱える問題や要望を把握し、施策に反映したい。

そのほか、瀬戸内国際芸術祭2019、家庭における防災対策、ふるさと納税、移住・定住の促進、災害ボランティア等との連携強化事業、サヌカイトの保存、専修学校各種学校の振興、新県立体育館の整備、障害者雇用の推進、人権啓発の取組みにおける市町等との連携、交通マナー向上対策などについていただきました。

### 文教厚生委員会

#### 児童虐待への対応

**問 今後の具体的な取組みは。**  
**答** 4月から両児童相談所に児童虐待対策課を設置し、児童虐待対策に専門的に取り組む。児童福祉司と児童心理司をさらに15名確保するほか、実践的な研修を実施して専門性の強化を図り、警察官や嘱託弁護士との連携を強化し、警察官や嘱託弁護士の配置を充実させ法的対応力の向上を図る。警察官は、現職の警察官を常時配置し、児童相談所と警察との



香川県子ども女性相談センター

一層の連携強化を図る。協力医療機関から専門的・技術的助言を得られる体制の確保を図るなど児童相談所の体制強化を進めていく。

そのほか、「がん医療」への取組み、外国人児童生徒への支援、歯と口腔の健康づくり、認知症施策の推進、不育症への支援、県立病院の目指すべき方向、「早寝早起き朝ごはん」の推進、学力向上対策、瀬戸内国際芸術祭と学校との連携、ドクターヘリの導入検討、動物愛護施策の推進、交通安全教育などについていただきました。

### 環境建設委員会

#### 太陽光発電施設の設置等に関するガイドライン

**問 策定の経緯と内容は。**  
**答** 地域との関係悪化や暴風・豪雨による被害発生等が全国で問題となったことから、地域との共生を目的とした独自のガイドラインを策定する。



地域と共生した太陽光発電事業の実施

るとともに、災害を防止し、自然環境・生活環境等を保全するため、「土地の選定、開発計画の策定に当たり、十分な考慮が必要な区域を設定する。

そのほか、イノシシ等の有害鳥獣対策、山地災害防止対策、廃棄物処理計画策定、マイクログラスチック対策、「里海づくり」の推進、新たな森林管理制度、大規模災害対策、民間住宅の耐震対策、老朽危険空き家対策、直轄国道の整備、民間施設のブロック塀の安全対策、建設業の担い手確保・育成などについていただきました。

### 経済委員会

#### 外国人観光客の誘客促進

**問 誘客状況と今後の取組みは。**  
**答** 本県の外国人延べ宿泊者数は約52万7千人で、初後の一層の誘客のため、高松空港と直行便で結ばれている国・地域に積極的な誘客プロモーションを行うほか、瀬戸内国際芸術祭の鑑賞バスポートのプレゼントキャンペーンや、欧米豪市場の関西国際空港や首都圏空港からの誘客に向け、J.R西日本の



欧米豪の旅行会社による県内視察ツアー

フリーパスと連携した取組みや、国内航空会社等と連携し、本県が広域周遊観光ルートに組み込まれるような取組み等を行う。

そのほか、外国人労働者の受入支援、女性・高齢者の就労支援、坂出緩衝緑地の活用、日EU経済連携協定、滞在型観光を推進するための情報発信、女木・男木地区の活性化対策、野菜の生産振興対策、農業の担い手の確保・育成、オリーブ牛のブランド力向上、土地改良区への支援、高等技術学校の損害賠償などについていただきました。



# 第10回 香川県議会高校生フォトコンテスト入賞作品決定

作品は、次号から順次掲載します。どうぞお楽しみに！

## 香川県議会議長賞 5点

多度津高等学校	1年	植松 大地さん	「昼下がりの駅」
高松西高等学校	1年	川田 貫太さん	「職人」
坂出高等学校	2年	藤原 愛梨さん	「威厳」
高松北高等学校	2年	北條 杏奈さん	「未来へ」
坂出商業高等学校	2年	山本 未央さん	「繋ぐ」



香川県議会議長賞受賞者

## 香川県議会広報委員長賞 5点

丸亀高等学校	1年	川崎 朱理さん	「出陣」
高松商業高等学校	2年	崎川 愛華さん	「JUMP!!」
観音寺第一高等学校	2年	柴川 悠さん	「空高く」
高松西高等学校	1年	塚田 一花さん	「これからもずっと」
小豆島中央高等学校	2年	数脇 由佳さん	「未来へジャンプ!」



292点の応募を  
いただきました。  
ありがとう  
ございました。

※入賞者の学校名、学年は、  
募集締切(平成31年1月31日)  
時点のものです。

## 香川県議会高校生フォトコンテスト佳作 5点

観音寺第一高等学校	2年	臼杵 真菜さん	「僕の初恋」
多度津高等学校	2年	木村 好希さん	「デッドヒート」
坂出商業高等学校	1年	清水 咲良さん	「一緒に」
高松西高等学校	1年	助安 ひなきさん	「力強く」
香川県藤井高等学校	1年	中畑 翔太さん	「あと少し、頑張れ」

入賞作品は、  
県議会ホームページに掲載中!!

## 第6回から第10回までの高校生フォトコンテスト受賞作品を展示!

5月13日(月)~17日(金)に県庁1階ギャラリーで  
各受賞作品を展示します。ご覧ください。



高校生フォトコンテスト佳作  
「フスタルジア」  
撮影者：香川県藤井高校1年  
福田 大記さん  
(学校名・学年は昨年1月応募時のものです)



高校生フォトコンテスト広報委員長賞  
「目を包み見上げる」  
撮影者：坂出商業高校1年 大中 陽さん  
(学校名・学年は昨年1月応募時のものです)



今月の表紙

「高校生フォトコンテスト」の入賞作品のうち、県議会  
議長賞を各号の表紙としてお届けし、広報委員長賞及  
び佳作を誌面でご紹介します。  
入賞者の言葉とともに、高校生の視点でとらえた  
「香川」のあれこれをお楽しみください。

## 「僕らの地元」 坂出商業高校1年 前田 奈緒さん(学校名・学年は昨年1月応募時のものです)

この写真は、成人式当日の朝、成人を迎えた仲良しの先輩達を撮影しました。それぞれ個性的なスーツを着ていて、現代的な部分も取り得つつ、丸亀城の古風な雰囲気もあってすごくお気に入りの写真です。また、二十歳になっても無邪気な子供心を忘れないポーズにも、いつでもユーモアを交える先輩達らしさが出ていて、とても素敵な写真になったと思います。